

2) 鳥類

① 鳥類相(出現種)

これまでの調査で当該地およびその周辺域で出現した鳥類は 16 目 47 科 126 種 (表 4.2.2) でした。樹林主体で沢や低湿地の水場環境 (埋め立て前は水田や小水路、埋め立て後は調整池) に対応して、樹林性の鳥類が多いほか (43.7%)、水辺性の鳥類 (28.6%) も多くなっています。また、渡りの区分 (表 4.2.2 参照) では留鳥が多く、次いで冬鳥、夏鳥が多くなっています。樹林や水域 (調整池) が安定しているため、渡り鳥の繁殖地 (夏鳥) や越冬地 (冬鳥) としての機能も高い地域となっています。

樹林域では、エナガやシジュウカラ、ヤマガラ、フクロウなどの樹林性の種やミゾゴイ、サンショウクイ、オオルリ、キビタキ、サンコウチョウ、アオバズクなどの樹林性夏鳥が多く記録されています。また、ヤイロチョウ、アカショウビンなどの珍しい種も確認されています。水鳥では、カワウやアオサギ、マガモなどが確認されています。このほか、当該地域の特徴は、ワシタカ類の出現が多いことです。クマタカ、オオタカ、サシバ (夏鳥)、ハチクマ (夏鳥) が確認されています。

	
<p>クマタカ 成鳥♀ 相賀 2018.3.3</p>	<p>オオタカ セグロセキレイ捕食 田代 09.5.19</p>
	
<p>オオタカ 巣上の幼鳥 相賀 2009.6.8</p>	<p>ハチクマ 成鳥♂ 餌運び 田代 2008.8.9</p>

写真 4.2.2.1 田代地区及びその周辺で確認された鳥類

埋め立て後の土地利用時においても、前述のワシタカ類を含め、フクロウ、アオバズク、ヤイロチョウ、アカショウビン、ミゾゴイなどの自然性の高い環境を指標する鳥類が出現しています(図 4. 2. 4~5)。

	
<p>サシバ 成鳥♂ 田代 2017. 7. 7</p>	<p>サシバ 巣上の幼鳥 田代の北 2009. 7. 13</p>
	
<p>アカショウビン 相賀 2016. 6. 1</p>	<p>キビタキ 田代 2019. 4. 26</p>
	
<p>ミゾゴイ 相賀 2015. 6. 27</p>	<p>コシアカツバメ 田代 2018. 4. 13</p>

写真 4. 2. 2. 3 田代地区及びその周辺で確認された鳥